

七ヶ浜グローバルPROJECT

～世界を見据えて、地域に根差す～

宮城県七ヶ浜町立小学校  
英語コミュニケーション科  
児童・保護者調査結果 報告書

令和8年3月

七ヶ浜町立 亦楽小学校

松ヶ浜小学校

汐見小学校

## I 児童調査

### 調査の目的

この調査は、コミュニケーション力（英語を通して自分の頭で考え、自分の言葉で意見や考えを伝え合うことができる力）を育成すること、英語コミュニケーション科の授業を「明るく楽しく面白い」の切り口で創ること、「英語嫌いの児童を出さない」ことの観点から振り返り、授業改善に生かすことを目的として行う。

### 設問1 英語コミュニケーションの授業は楽しいですか。

#### 《低学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令5	48%	42%	9%	1%
		90%		10%	
	令6	57%	41%	1%	1%
		98%		2%	
	令7	74%	20%	5%	1%
		94%		6%	
3年間平均		94%		6%	
松ヶ浜小	令5	72%	10%	2%	16%
		82%		18%	
	令6	68%	23%	9%	0%
		91%		9%	
	令7	73%	22%	5%	0%
		95%		5%	
3年間平均		89%		11%	
汐見小	令5	62%	32%	6%	0%
		94%		6%	
	令6	78%	15%	5%	02%
		93%		7%	
	令7	60%	27%	9%	4%
		87%		13%	
3年間平均		91%		9%	

#### 【踏み込んだ聞き取り、記述による回答】

##### [楽しい理由]

- ・英語を使ったゲームが楽しいから。(複数) ・友達と英語で話すのが楽しいから。(複数)
- ・ALTの先生が優しく教えてくれるから。(複数) ・先生と交流できるから。
- ・自分の気持ちを伝えることができるから。・英語を覚えられるから。・色々な英語が知れて楽しい。
- ・日本語じゃない言葉を知れる。・モンキータイムでケビン先生とお話するのが楽しい。

・発表すると拍手をしてくれるから。・もっとアルファベットなど英語を勉強したいから。  
 ・アメリカのクリスマスが日本と違うところがあっておもしろかったから

[楽しくない理由]

・苦手だから。・難しいから。・つまらないから。

【低学年のまとめ】

今年度は、「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が87%~95%と、肯定的にとらえる児童が多かった。さらに、3年間を通して、全ての小学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が8割を超え、9割近くである。児童の記述による回答からは、①英語での言い方を覚える楽しさ ②英語を使ってゲームや歌を歌うことの楽しさ ③英語を使うことで友達やALTとコミュニケーションを図れる心地よさ等を感じ取れる。

しかし、「楽しくない」と回答している児童も少なからずいる。その理由として「難しいから」「苦手だから」等の回答があった。英語を話すことの楽しさや英語を介してのコミュニケーションを図ることの面白さを感じさせる授業づくりを更に工夫していく必要がある。

## 《中学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令5	39%	46%	13%	2%
		85%		15%	
	令6	64%	30%	4%	2%
		94%		6%	
	令7	44%	43%	9%	4%
		87%		13%	
<b>3年間平均</b>		<b>89%</b>		<b>11%</b>	
松ヶ浜小	令5	40%	47%	8%	5%
		87%		13%	
	令6	52%	34%	7%	7%
		86%		14%	
	令7	36%	53%	9%	2%
		89%		11%	
<b>3年間平均</b>		<b>87%</b>		<b>13%</b>	
汐見小	令5	42%	42%	14%	2%
		84%		16%	
	令6	41%	41%	12%	6%
		82%		18%	
	令7	53%	38%	5%	4%
		91%		9%	
<b>3年間平均</b>		<b>86%</b>		<b>14%</b>	

【踏み込んだ聞き取り、記述による回答】

[楽しい理由]

- ・英語で話すことが楽しいから。(複数) ・みんなとゲームをするのが楽しいから。(複数)
- ・他の国のことを知ることができるから。(複数) ・アルファベットや英語が分かるようになるから。
- ・未来につながるから。・中学校の授業に役立つと思うから。
- ・アルファベットがしっかり書けていると嬉しいから。(複数)
- ・スモールトークが楽しい。・英語を覚えることができるから。
- ・分からない時に教えてもらえるから。
- ・ゲームをしながら英語を覚えることができるから。・新しい英語を覚えることができるから。
- ・いろいろな人と交流できて楽しいから。・分からない時に友達が教えてくれるから。
- ・友達の良いところを探して言うのが楽しいから。
- ・ALTの先生が教えてくれて、本物の英語が分かるから楽しい。
- ・外国の人と会った時に少し話せると嬉しいから。
- ・友達と一緒に英語の勉強をできるから。・みんなのことをたくさん知れるから。
- ・英語をやると元気になる。・気分が上がるから。
- ・友達と英語で話してコミュニケーションをとることができるから。
- ・英語を覚えて話せるようになりたいから。・ALTの先生が明るく授業をしてくれるから。

[楽しくない理由]

- ・難しいから。(複数) ・英語が苦手だから。・覚えられないから。・友達と話すのが苦手。
- ・簡単すぎてつまらない。・英語が分からない
- ・英語が得意じゃないから ・楽しいときとそうでないときがあるから

【中学年のまとめ】

今年度は、全ての学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が8割を越えている。さらに、3年間を通して、全ての小学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が8割を超えており、意欲の継続が伺える。児童の記述による回答からは、ゲームや会話そのものを楽しむことにとどまらず、「友達と英語でコミュニケーションをとったりすることが楽しい」「いろいろな人と交流できて楽しい」と回答するなど、英語を学ぶことでの視野の広がりを感じる児童も増えていることが分かる。

楽しくない理由には「難しいから」が多く、「友達と話すのが苦手」というものもあった。「明るく、楽しく、面白く」の基本を大切にしつつも、児童それぞれの思いに寄り添った指導の工夫をしていく必要がある。

《高学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令5	40%	58%	2%	0%
		98%		2%	
	令6	34%	44%	18%	4%
		78%		22%	
	令7	66%	21%	11%	2%
		87%		13%	
3年間平均		88%		12%	

松ヶ浜小	令5	38%	54%	7%	1%
		92%		8%	
	令6	36%	47%	17%	0%
		83%		17%	
	令7	24%	49%	12%	15%
		73%		27%	
3年間平均		89%		11%	
汐見小	令5	46%	43%	9%	2%
		89%		11%	
	令6	58%	31%	8%	3%
		89%		11%	
	令7	46%	42%	6%	6%
		88%		12%	
3年間平均		89%		11%	

【踏み込んだ聞き取り、記述による回答】

【楽しい理由】

- ・友達と英語を使ってゲームをするのが楽しいから。・楽しい気分でできるから。
- ・自分のことを紹介することができるから。・友達同士で英語を話すことができるから。
- ・英語で友達や先生の好きなことや得意なことを知ることができるから。(複数)
- ・ゲーム形式で英語を覚えることができるから。・楽しみながら英語を学ぶことができるから。
- ・英語の様々な単語を覚えることができるから。
- ・英語を聞き取れるようになるし、交流ができるから。(複数)
- ・外国に興味があるから。(複数) ・海外に行ってみたいから。
- ・習った英語を生活で活用でき、簡単な英語がある程度理解できるようになったから。
- ・異国の文化を知ることができ、楽しいから。(複数)
- ・英語は苦手だけど、ALTの先生と授業をすると楽しいから。
- ・英語で話せると嬉しいから。・アルファベットを書くのが好きだから。
- ・自分の英語が伝わっていると思うと、自然と楽しくなる。
- ・英語の先生が陽気で接しやすく楽しい。
- ・ALTが会話や物の言い方などをゆっくり教えてくれるので分かりやすい。

【楽しくない理由】

- ・苦手だから。・発表するのがいやだから。・意味が分からない。
- ・英語をしゃべっていると頭が痛くなる。・英語が話せないから。

【高学年のまとめ】

今年度は、「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童がおよそ8割であった。「とても楽しい」と答えた児童の割合は低・中学年と比較するとやや低い傾向が見られる。また、3年間を通してみると、全ての小学校で「とても楽しい」「楽しい」と回答している児童が9割近くであり、興味・関心、そして英語に対する意欲の継続が伺える。児童の回答からは、「英語を通して、コミュニケーションをとる楽しさと

喜び」「外国のことを知れてうれしい」等、英語を学ぶことでの視野の広がりを感じる児童も増えていることが分かる。また、英語の発音や単語を少しずつ覚えていくことのよさを感じる等、高学年ならではの回答も見られた。

しかし、「つまらないから」「楽しく学べるのが少ない」等の回答もあった。今後、英語で表現することに対する充実感が味わえる授業づくりを目指す必要がある。

**設問2** 英語コミュニケーションで「楽しかった」と感じる活動は、どんな活動ですか。

※複数回答

		活動内容		亦小	松小	汐小
聞く	1 外国人の先生と本物の英語であいさつしたり、話したり、聞いたりする活動	低	R6	60%	72%	66%
			R7	34%	57%	40%
		中	R6	35%	22%	36%
			R7	51%	40%	42%
		高	R6	23%	28%	54%
			R7	23%	33%	43%
話す	2 友達同士で英語を使ってあいさつしたり、話したり、聞いたりし、「Good job」などの言葉で友達のよいところを伝え合う活動	低	R6	66%	82%	76%
			R7	56%	69%	51%
		中	R6	46%	45%	53%
			R7	51%	51%	53%
		高	R6	39%	47%	64%
			R7	33%	50%	58%
聞く 読む	3 外国人の先生と英語のゲームなどで、数字や色の言い方、ものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R6	78%	97%	76%
			R7	81%	72%	55%
		中	R6	62%	43%	46%
			R7	55%	54%	51%
		高	R6	50%	60%	62%
			R7	44%	28%	58%
	4 友達どうして英語のゲームなど数字や色の言い方やものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R6	82%	88%	79%
			R7	72%	74%	57%
		中	R6	60%	71%	58%
			R7	53%	58%	55%
		高	R6	61%	67%	78%
			R7	43%	31%	75%
5 外国のことを知る活動	低	R6	57%	82%	59%	
		R7	56%	60%	29%	
	中	R6	36%	33%	42%	
		R7	43%	19%	31%	
	高	R6	34%	57%	78%	
		R7	30%	28%	58%	

書く	6 英語の文字（アルファベット）を書いたり読んだりする活動	低	R6	—	—	—
			R7	—	—	—
		中	R6	36%	26%	42%
			R7	38%	32%	45%
		高	R6	19%	24%	50%
			R7	28%	19%	30%

**設問3** 英語を使ってもっとできるようになりたいことはありますか。 ※複数回答

領 域			亦小	松小	汐小
1 英語で話せるようになりたい。 【話すこと】（発表）	低	R6	86%	88%	89%
		R7	84%	78%	72%
	中	R6	89%	78%	77%
		R7	84%	78%	85%
	高	R6	85%	88%	88%
		R7	85%	77%	86%
2 英語で簡単な意見発表ができるようになりたい。 【話すこと】（やりとり）	低	R6	55%	75%	59%
		R7	50%	48%	33%
	中	R6	36%	31%	30%
		R7	44%	43%	39%
	高	R6	32%	28%	43%
		R7	28%	53%	50%
3 英語を聞き取れるようになりたい。 【聞くこと】	低	R6	93%	83%	78%
		R7	72%	78%	46%
	中	R6	71%	66%	52%
		R7	65%	70%	68%
	高	R6	67%	74%	78%
		R7	57%	67%	70%
4 英語の文を書くことができるようになりたい。 【書くこと】	低	R6	82%	83%	71%
		R7	73%	72%	43%
	中	R6	54%	53%	34%
		R7	56%	45%	54%
	高	R6	41%	67%	57%
		R7	44%	63%	89%
5 英語の簡単な物語や漫画などが読めるようになりたい。 【読むこと】	低	R6	78%	87%	78%
		R7	64%	70%	51%
	中	R6	43%	48%	35%
		R7	38%	47%	44%
	高	R6	27%	35%	54%
		R7	25%	45%	43%

## II 保護者調査

### 設問

《亦小》お子さんにとって英語コミュニケーションは楽しい取組である。

《松小》お子さんにとって1年生から英語コミュニケーションの授業に取り組むことは有意義だと思う。

《汐小》お子さんは、英語コミュニケーションの授業を楽しんでいる。

学校名	年度	とてもそう思う	そう思う	思わない	まったく思わない	無回答
亦小	令6	39%	51%	8%	2%	0%
	令7	38%	56%	6%	0%	0%
松小	令6	86%	13%	1%	0%	0%
	令7	81%	16%	2%	1%	0%
汐小	令6	47%	37%	14%	2%	0%
	令7	44%	45%	7%	4%	0%

○保護者用調査から、保護者は英語コミュニケーションの取組を肯定的に捉えていることが伺える。

## III 結果の総括

### <成果>

- 英語を使ったゲームそのものの楽しさはもちろんのこと、ゲームを通して味わえる英語を使ったコミュニケーションの楽しさに喜びや心地よさを感じてきている児童が多い。
- 自分の好きなことや感じたことを、英語を使って伝え合う活動を通し、相手のことを知るきっかけになっている。
- これまで取り組んできた、「聞く」「話す」活動の積み上げに加え、今年度も「書く」活動を継続して取り組んできた。「英語で書くこと」に楽しさを感じる児童も増えてきた。音声で十分に慣れ親しんだ言葉を書くことで、抵抗感を減らしながら無理なく書くことを今後も継続していきたい。
- 英語でのゲームが楽しいということだけでなく、英語を使ってコミュニケーションを図ることに楽しさを感じる素地ができてきている。間違いを気にしない、誰とも関わることのできる雰囲気づくりをALTと担任が工夫している。

### <課題>

- これまでの取組によって、「聞くこと」「話すこと」の能力の向上が見られる反面、学年が上がるにつれて恥ずかしさやみんなの前で話すことに対するの苦手意識を持つ児童も見られる。その苦手意識を軽減するため、場の設定や学習形態の工夫、ICTの活用等、ALTと協働しながら授業改善を進めていく。
- 相手意識・目的意識を明確にし、児童と共有しながら授業を進めていく必要がある。単元全体のゴールを設定し、それに向かってどのような言語活動を行っていくのか学習計画の検討が必要である。

## 〈セヶ浜・グローバル PROJECT II (セカンドステージ)〉

### 英語を通じたコミュニケーション力の育成

- (1) 自分の頭で考え意見や思いを伝え合う力を、英語をツールとしたコミュニケーション力の育成によって培う。「明るく、楽しく、面白く」の切り口で英語をシャワーのように浴びせ、かつ豊富な発話量を確保する。
- (2) 小学校三校は教育課程の特例のもと町独自に構想した「英語コミュニケーション科」(全学年)のさらなる充実を図る。教育課程特例期間が H29年度～R8年度と長期にわたっているアドバンテージを活かし、中学校でも今年度は教育課程特例校申請を行い、小学校との接続を強化していく。
- (3) 小学校の授業は ALT が T1、担任が T2 とするチームティーチングで行う。
- (4) 中学校でも、ALT が T1、担任が T2 とするチームティーチングのあり方について実践を積み重ねていく。コミュニケーション力に加え、文法力、語彙力等認知能力を鍛える。



### 〈R8年度の取組〉

R8 のテーマ:「自然(発生的)なコミュニケーション」～目的意識・相手意識を明確にして～

- 「明るく、楽しく、面白く」という考え方を継続し「英語をシャワーのように浴びせ」かつ「豊富な発話量を確保」する授業づくりを意識していく。児童が英語を通してのコミュニケーションの楽しさを感じ、間違いを恐れることなく英語と関われるようにする。
- 他国への興味関心を高め、英語を身近なものにするための取組として、英語表記の掲示物の作成や ALT による自国の紹介等を行っていく。
- 「聞く」「話す」ことを重点的に取り組むことは継続しながら、発達段階に応じて「書く」「読む」の指導も行っていく。「書くこと」に難しさを感じている児童も多いので、アルファベットに触れる学習を意識的に行いながらスモールステップで進めていく。また、「読む」ことについても英語カードや板書を通して、自然と音声と文字が一致できるようにしていく。
- ALT との同僚性・協働性といった良好な関係性を保持していく。授業づくりと授業実践は ALT と担任の TT とする。また、学校間で授業を適宜公開し、英語コミュニケーション科の授業を考える一つの機会とする。

### 英語コミュニケーション科の特徴

「明るく・楽しく・面白く」「英語嫌いを出不さない」授業を目指し、担任とALTが協働して授業づくりを行っている。特徴として以下の点が挙げられる。

- 1 ALTがT1, 担任がT2の役割を果たす授業を基本としている。授業では担任はT2であるが、授業のマネジメントを行う。また、担任がALTと積極的にコミュニケーションをとり、「よい学び手」としての手本を児童に示す。
- 2 アクティビティを中心に、1時間たっぷり英語を使う活動を取り入れる。その授業で「身に付けさせたい英語の力」は何か、「どのようにステップアップしていくのか」、「コミュニケーション能力の中のどんな力を身に付けさせたいのか」を明確にしたアクティビティを考えていくことを大切にする。
- 3 ALT(ネイティブ)が話す英語を1年生から6年間、シャワーのようにたっぷり聞かせることをベースとした言語活動に取り組みせる。
- 4 児童同士、児童とALT, 児童と担任によるコミュニケーション活動を、発達段階に応じた題材を介して、繰り返し指導していく。そのために、目の前の学級の子供たちの実態から授業を考えることを大切にしている。

★ 亦楽小児童へのアンケート (R7の結果より)

#### 【Q.英語コミュニケーションの授業は楽しいですか?】

	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	62%	28%	8%	2%
	90%		10%	

#### 【Q.英語を使ってもっとできるようになりたいことは何ですか? \*複数回答】

	英語で話せるようになりたい	英語で簡単な意見発表ができるようになりたい	英語を聞き取れるようになりたい	英語の文を書くことができるようになりたい
亦楽小	85%	41%	65%	58%



- ・「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童は90%と高い結果である。しかし、10%の児童はあまり楽しさを感じていないという状況である。
- ・英語を「話したい」と回答した児童は85%と高い結果である。

#### 【成果と課題】

- 児童は、英語を使ったゲームを通して、楽しみながらコミュニケーションをとり、ALTや友達への理解を深めたり、自分について理解してもらったりすることに喜びや心地よさを感じている。
- 発達段階に応じて英語や外国の文化への興味・関心を高め、学習意欲につなげることができた。
- ▲「書くこと」「読むこと」に関して苦手意識をもっている児童が多い。授業の中でスモールステップの目標を設定し、書いたり読んだりする活動を積極的に取り入れ、達成感を感じられるようにしていきたい。また、楽しんで取り組める活動を考えていきたい。



## 汐見小学校 令和7年度 英語コミュニケーション

### 英語コミュニケーション科の特徴

「明るく・楽しく・面白く」「英語嫌いを出さない」授業を目指し、担任とALTが協働して授業づくりを行っている。特徴として以下の点が挙げられる。

- 1 ALTがT1、担任がT2の役割を果たす授業を基本としている。授業では担任はT2であるが、授業のマネジメントを行う。また、担任がALTと積極的にコミュニケーションをとり、「よい学び手」としての手本を児童に示す。
- 2 アクティビティを中心に、1時間たっぷり英語を使う活動を取り入れる。その授業で「身に付けさせたい英語の力」は何か、「どのようにステップアップしていくのか」、「コミュニケーション能力の中のどんな力を身に付けさせたいのか」を明確にしたアクティビティを考えていくことを大切にする。
- 3 ALT（ネイティブ）が話す英語を1年生から6年間、シャワーのようにたっぷり聞かせることをベースとした言語活動に取り組みせる。
- 4 児童同士、児童とALT、児童と担任によるコミュニケーション活動を、発達段階に応じた題材を介して、繰り返し指導していく。そのために、目の前の学級の子供たちの実態から授業を考えることを大切にしている。

★汐見小児童へのアンケート（R7の結果より）

#### 【Q.英語コミュニケーションの授業は楽しいですか？】

	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
汐見小	53%	36%	7%	4%
	89%		11%	

#### 【Q.英語を使ってもっとできるようになりたいことは何ですか？ \*複数回答】

	英語で話せるようになりたい	英語で簡単な意見発表ができるようになりたい	英語を聞き取れるようになりたい	英語の文を書くことができるようになりたい
汐見小	81%	41%	61%	61%



・「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童は89%と高い結果である。しかし、11%の児童はあまり楽しさを感じていないという状況である。  
 ・英語で「話したい」と回答した児童は81%と高い結果である。また、「書きたい」と回答した児童は61%で、昨年度よりも7%増加となった。

#### 【成果と課題】

○単元の流れの中で、「書く活動」を設定することで、児童の「書きたい」という興味関心が高まった。

○ALT（ネイティブ）が話す英語を常に聞くことで、聞き取れるようになったと感じている児童が増えた。

▲新しく学習する表現を使えるようにすることで精一杯であった。今後、場面状況に応じて思考力を働かせ、「生きた英語」を使えるようにする授業展開・単元構成を考え、日常的に英語を使うとする児童の育成を目指したい。



## 松ヶ浜小学校 令和7年度 英語コミュニケーション

### 英語コミュニケーション科の特徴

「明るく・楽しく・面白く」「英語嫌いを出さない」授業を目指し、担任とALTが協働して授業づくりを行っている。特徴として以下の点が挙げられる。

- 1 ALTがT1、担任がT2の役割を果たす授業を基本としている。授業では担任はT2であるが、授業のマネジメントを行う。また、担任がALTと積極的にコミュニケーションをとり、「よい学び手」としての手本を児童に示す。
- 2 アクティビティを中心に、1時間たっぷり英語を使う活動を取り入れる。その授業で「身に付けさせたい英語の力」は何か、「どのようにステップアップしていくのか」、「コミュニケーション能力の中のどんな力を身に付けさせたいのか」を明確にしたアクティビティを考えていくことを大切にする。
- 3 ALT（ネイティブ）が話す英語を1年生から6年間、シャワーのようにたっぷり聞かせることをベースとした言語活動に取り組みせる。
- 4 児童同士、児童とALT、児童と担任によるコミュニケーション活動を、発達段階に応じた題材を介して、繰り返し指導していく。そのために、目の前の学級の子供たちの実態から授業を考えることを大切にしている。

★松ヶ浜小児童へのアンケート（R7の結果より）

#### 【Q.英語コミュニケーションの授業は楽しいですか？】

	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
松ヶ浜小	54%	43%	8%	5%
	87%		13%	

#### 【Q.英語を使ってもっとできるようになりたいことは何ですか？ \*複数回答】

	英語で話せるようになりたい	英語で簡単な意見発表ができるようになりたい	英語を聞き取れるようになりたい	英語の文を書くことができるようになりたい
松ヶ浜小	83%	44%	65%	65%



・「とても楽しい」「楽しい」と回答した児童は87%と高い結果である。しかし、13%の児童はあまり楽しさを感じていないという状況である。  
 ・英語で「話したい」と回答した児童は83%と高い結果である。また、「書きたい」と回答した児童は65%で、昨年度よりも4%増加となった。

#### 【成果と課題】

○単元の流れの中で、「書く活動」を設定することで、児童の「書きたい」という興味関心が高まった。

○ALT（ネイティブ）が話す英語を常に聞くことで、聞き取れるようになったと感じている児童が増えた。

▲「生きたコミュニケーション」を目標に掲げていたが、新しく学習する内容に精一杯になってしまった。魅力ある言語活動を最終的なゴールにすることで、目的意識のある単元構成を進めていきたい。

